

平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月15日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL http://www.samantha.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 和正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菅原 隆司 (TEL) 03(5412)8193
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	9,982	△13.2	642	△42.1	519	△54.1	230	△61.3
28年2月期第1四半期	11,496	11.4	1,108	△25.0	1,133	△22.2	594	△26.5

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 272百万円(△56.9%) 28年2月期第1四半期 630百万円(△23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	6.52	—
28年2月期第1四半期	16.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	23,614	9,570	39.9
28年2月期	24,709	9,474	37.7

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 9,423百万円 28年2月期 9,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,200	0.7	600	△62.0	580	△63.9	290	△62.8	8.22
通期	45,500	4.8	2,620	24.3	2,580	31.9	1,430	—	40.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期1Q	35,296,000株	28年2月期	35,296,000株
29年2月期1Q	—株	28年2月期	—株
29年2月期1Q	35,296,000株	28年2月期1Q	35,296,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られた一方、中国をはじめとする世界経済の減速懸念、株価や為替の急激な変動など、景気の先行については不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、外国人旅行者の増加によるインバウンド需要に減速感がみられ、また、消費者の節約志向による消費マインドの低下が継続する厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新規出店などによる増収があった一方で、前連結会計年度に実施したアパレル事業の再構築及びブランド整理に伴う店舗数の減少(アパレル事業において前年同期比35店舗の減少)などの影響により、99億82百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

売上総利益率は、前年同期比0.7ポイント増の68.0%となり、売上総利益額は67億86百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、プロモーション活動に伴う販促費や広告宣伝費などの減少により61億44百万円(前年同期比7.2%減)となりましたが、減収に伴い営業利益は6億42百万円(前年同期比42.1%減)となりました。

営業外損益は、為替差損1億15百万円など合計1億25百万円を営業外費用に計上したため、経常利益は5億19百万円(前年同期比54.1%減)となりました。

特別損益は、固定資産除却損11百万円など合計14百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億30百万円(前年同期比61.3%減)となりました。

なお、当社グループは「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主な取組みは以下のとおりであります。

<店舗展開について>

出店戦略として、話題の商業施設への出店を行ってまいりました。事業別の出退店数、主な店舗は以下のとおりであります。

バッグ事業においては、9店舗の出店(1店舗の退店)となりました。国内では東京都内で最大のDUTY-FREE STOREであるロッテ免税店東京銀座店の中に、「サマンサタバサ ロッテ免税店」を出店した他、「サマンサタバサ 福岡三越市中免税店」、東京ディズニーリゾート内のショッピングモール「イクスピアリ」に「サマンサベガ&シュエット ギャラリー イクスピアリ店」を出店いたしました。海外では、香港において香港大型商業施設「ハーバーシティ」に「サマンサタバサ 香港ハーバーシティ店」を出店いたしました。

アパレル事業においては、4店舗の出店(3店舗の退店)となりました。「And Couture(アンド クチュール)」をルミネ池袋、JR名古屋高島屋に、「WILLSELECTION(ウィルセレクション)」を阪急うめだ本店、有楽町マルイに出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計でブランド変更を含め、前年度末比で9店舗増加し、当第1四半期末の店舗数は447店舗となりました。

<プロモーション活動について>

プロモーション活動として、TV CMや、多数のファッション誌への掲載、各種イベント・キャンペーンなどを行ってまいりました。

バッグ事業においては、世界のトップモデルでサマンサミューズのミランダ・カーを起用したサマンサタバサ新CMや、EXILEのDNAを受け継ぎ本格的なダンスパフォーマンスを展開する女性グループ「E-girls」の楓さん、藤井夏恋さん、藤井萩花さん、佐藤晴美さんが出演した、2016年春夏新CMを放映いたしました。また、2016年3月には「サマンサタバサ×伊勢丹新宿店」の特別企画として、3月16日～22日の1週間、サマンサタバサが創設130周年を迎える伊勢丹新宿店において、6フロア横断イベントを開催いたしました。総合プロデューサーに最も旬な日本人クリエイターDaichi Miuraさんを迎え、各フロアを「コラボレーション」で共通させ、様々な注目アーティスト

ト、タレントとのコラボラインナップを展開いたしました。また、本館1階全14面のウィンドウをディスプレイするなど、サマンサタバサらしい“夢”の空間を演出いたしました。

<商品戦略について>

商品戦略として、各ブランドにおいて多くの新作を販売し、話題性のある商品を販売いたしました。

バッグ事業においては、2015年秋のCMで紹介した、サマンサタバサの「M Chou Chou ～エムシュシュ～」シリーズの販売が今期も堅調に推移いたしました。また、伊勢丹新宿店との特別企画では、世界のトップモデル兼サマンサミュージズのミランダ・カーとのコラボレーション商品である「Miranda Kerr for Samantha Thavasa」シリーズをはじめ、同月にサマンサタバサのプロモーション契約を果たした中村アンさんなど、今注目のデザイナー、スタイリストとのコラボレーションラインナップを展開いたしました。その他、ディズニー映画「ズートピア」の世界観をイメージした「ディズニーコレクション ズートピアシリーズ」の商品や、サマンサタバサから初のキッズラインとなる「Dream Samantha Kids」、アパレル事業からは「TU LEST (トゥレスト)」が先行デビューするなど、多数の商品を展開いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は236億14百万円であり、前連結会計年度末と比較して10億94百万円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が5億20百万円、商品及び製品が2億75百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は140億44百万円であり、前連結会計年度末と比較して11億90百万円減少しております。主な減少要因は、支払手形及び買掛金が5億93百万円、長期借入金が5億61百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は95億70百万円であり、前連結会計年度末と比較して95百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年4月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,660,398	5,139,829
受取手形及び売掛金	2,685,715	2,484,687
商品及び製品	8,909,020	8,633,213
仕掛品	17,888	19,848
原材料及び貯蔵品	296,151	302,114
その他	1,185,963	1,059,575
貸倒引当金	△6,855	△6,968
流動資産合計	18,748,284	17,632,301
固定資産		
有形固定資産	2,234,707	2,297,791
無形固定資産		
その他	517,650	504,981
無形固定資産合計	517,650	504,981
投資その他の資産		
差入保証金	2,769,168	2,748,615
その他	475,053	466,636
貸倒引当金	△35,356	△35,356
投資その他の資産合計	3,208,865	3,179,895
固定資産合計	5,961,224	5,982,669
資産合計	24,709,508	23,614,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848,479	1,255,326
短期借入金	173,660	167,760
1年内返済予定の長期借入金	2,002,424	1,952,324
未払法人税等	46,651	18,555
賞与引当金	276,686	553,486
その他	1,776,646	1,551,382
流動負債合計	6,124,548	5,498,834
固定負債		
長期借入金	9,014,465	8,452,584
その他	95,564	93,054
固定負債合計	9,110,029	8,545,638
負債合計	15,234,577	14,044,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	5,072,098	5,125,747
株主資本合計	9,457,298	9,510,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,281	5,126
為替換算調整勘定	△149,783	△92,949
その他の包括利益累計額合計	△135,502	△87,822
非支配株主持分	153,134	147,371
純資産合計	9,474,930	9,570,496
負債純資産合計	24,709,508	23,614,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	11,496,584	9,982,090
売上原価	3,765,591	3,195,807
売上総利益	7,730,993	6,786,282
販売費及び一般管理費	6,622,741	6,144,181
営業利益	1,108,251	642,100
営業外収益		
受取利息	39	200
補助金収入	1,827	1,916
為替差益	33,566	—
その他	1,072	1,446
営業外収益合計	36,506	3,563
営業外費用		
支払利息	7,998	9,057
為替差損	—	115,344
その他	3,250	1,422
営業外費用合計	11,249	125,824
経常利益	1,133,508	519,839
特別損失		
固定資産除却損	19,456	11,527
その他	—	2,866
特別損失合計	19,456	14,394
税金等調整前四半期純利益	1,114,051	505,445
法人税、住民税及び事業税	331,724	167,264
法人税等調整額	177,832	114,714
法人税等合計	509,556	281,978
四半期純利益	604,494	223,466
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,611	△6,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	594,883	230,129

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	604,494	223,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,596	△9,155
為替換算調整勘定	14,505	57,734
その他の包括利益合計	26,102	48,579
四半期包括利益	630,597	272,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,334	277,808
非支配株主に係る四半期包括利益	15,263	△5,762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。